

平成23年12月29日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 NPO法人青梅わかば福祉会

ジョイントワークひこばえ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

ジョイントワークひこばえの移転にともなう施設内整備及び備品購入

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

障害者自立支援法の施設体系移行の最終年度をむかえ、当作業所も平成23年4月より、就労移行支援と就労継続B型の移行を目指し、準備を進めております。当作業所は民間で運営しておりますが、施設にかかる賃借料も高く、財政的に厳しいので、市へは再三、公的な建物の貸与をお願いしてきまして、市の既存施設の貸与をいただき、引越しをすることになりました。引越しにともなう費用や施設内の改修は施設の負担になり、今回申請いたしました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

今回の移転先は大門診療所の跡地の看護師宿舎を使用することになりました。1階と2階部分の半分です。数年間未使用なためと福祉施設向きには建てられていないため、改修が必要でした。まず、作業室になるところは、上履きを使用しなくて寒くないように床を上げ、2つに部屋の仕切りをとり、広い部屋で作業ができるようにしました。修繕が終了したところで、4月27、28の2日間で、業者と作業所の人たちで引越しを終えました。また、作業に必要な収納スペースを確保するために作業棚を購入しました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

・数件の引越し業者に見積もりを依頼したところ、予算を大幅にうわまり、小さな「便利屋さん」をお願いしたところ、予算に合う見積もりで大きな備品類を運んでいただきました。残りは作業所の通所者と職員とボランティアで数日間で小分けに運び、引越しをいたしました。大変つかれましたが、みんなの頑張りで、大きな引越しをすることができました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

今回の引越しは当初3月の終りを予定していましたが、3月11日の東日本大震災で、通所者の精神的な不調をきたし、欠席や早退がみられる様になりました。また、修繕にかかる物資がなかなか入荷しないなどの状況になり、引越しを1ヶ月延期いたしました。日々が経過するうちに落ち着いてはきましたが、引越し後の環境の変化が、再度精神的に負担になるかとも思いましたが、無事に乗り越え、半年近くがすぎました。これからは来年度からの移行の準備を着々と進めて行きたいと思っております。このプロジェクトでは応募多数のため、申請金額より下がりましたが、お蔭様で作業所の引越しと備品購入をすることが出来ましたことを感謝いたします。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

ひこばえしんぶん81号

発行元 NPO法人青梅わかば福祉会 ジョイントワークひこばえ
〒198-0014 青梅市大門2丁目261-1
TEL0428-32-8757 FAX0428-32-7293
e-mail owf-j_hikobae@fg7.so-net.ne.jp

新作業所オープン！

5月1日、ひこばえは新しい場所での活動をスタートさせました。震災の影響もあって当初の予定からは1カ月ほどおくれたオープンとなりましたが、移転してから約2カ月が過ぎ、職員もメンバーここでの日常によりやく慣れてきたところです。

新しい作業所です。1Fが作業室、2Fが事務所になります。



GW前の猛暑の中での引越し作業や引越し後の生活など、新作業所によせるメンバーの思いは次ページ以降です。